

でした。月並みな言葉になてしまいましたが、六年ともにもすることができたことへの感謝をこめ、申上げたいところであります。

これの世の

再び無—といふことを

命に透り知る人すくな

森信三 ノブゾウ

私自身、皆さんとの一期一会の出会いに感謝するとともに、武蔵に身を置くことができたということも誇りに思い、再出発をしてゆく所存であります。

長くなてしまいましたが、どうやらその後「テメエの話

は長えんだよ」と皆さんから叱られることはわかっていきます。とはいえ、歴代の答辞にあったような今後の人生を後押しするようなお話や小難しきコトバが並ぶような実のあるお話もできそうです。